

所 判 裁										
大 曲	秋 田			磐 井	盛 岡		酒 田		新 庄	
	能 代	本 庄	秋 田		宮 古	盛 岡	酒 田			
秋 田 縣	秋 田 縣			岩 手 縣		山 形 縣				
羽 後	陸 羽 中 後	羽 後	陸 前	陸 中	陸 中	陸 中	陸 奧	羽 後	羽 前	最 上
仙 北 平 鹿 雄 勝	山 本 北 秋 田	由 利	川 邊 南 秋 田	氣 仙	東 磐 井 膽 澤 江 刺	北 中 南 伊	二 戸	北 南 九 戸 西 閉 伊 北 南 岩 手 紫 波 稗 貫 西 東 和 賀	飽 海	東 田 川

訴 控 城 宮										
山 形	米 澤	若 松	平	白 川	福 島		仙 臺			
	米 澤	若 松	平	白 川	中 村	福 島	大 河 原	石 卷		
山 形 縣	山 形 縣	福 島 縣	福 島 縣	福 島 縣	福 島 縣		宮 城 縣			
羽 前	羽 前	越 後	岩 代	磐 城	岩 代	磐 城	磐 城	岩 代	陸 前	
南 北 村 山	東 南 置 賜	東 浦 原	北 會 津 那 麻 河 沼 大 沼 安 積 ノ 内	磐 前 磐 城 檜 葉 菊 田 標 葉 田 村 ノ 内	岩 瀨 安 積 ノ 内	東 白 川 石 川	宇 多 行 方	信 夫 安 達 伊 達 ノ 内	伊 達 ノ 内	柴 田 伊 具 亘 理

桃生 牡鹿 登米 本吉 遠田

院									
所 判 裁 訴 控 館 函									
八	弘 前			函 館					
八	五所河原	青 森	弘 前	壽 都	福 山	江 刺	函 館		
青森縣	青森縣			開拓使					
陸 奥	陸 奥			後 志	渡 嶋	後 志	渡 嶋	膽 振	渡 島
三 戸 上 北ノ内	北津輕	東津輕 下北 上北ノ内	西 中津輕 南	島 牧 壽 都 歌 壠 磯 谷	津 輕 福 嶋	久 遠 太 檜 瀨 棚 奥 尻	檜 山 爾 志	山 越	龜 田 上 磯 茅 部

第六十四條 (参考)明治十四年十一月十九日發本年(十月)第五十三號布

告各裁判所位置及管轄區畫表中

松江始審裁判所行中(今町)ハ(今市)ノ誤

函館治安裁判所行中(龜田)ノ上(函館區)ノ三字ヲ脱ス

福山治安裁判所行中(津輕福島)ハ(松前)ノ誤

十一月十九日

内閣書記官

第六十五條 明治十四年十月七日第五十六號布告

小笠原島裁判事務當分東京府出張所ニテ治安裁判所(即チ違警罪裁判所)始審裁判所(即チ輕罪裁判所)ノ權限ヲ以テ裁判セシメ民事控訴及重罪裁判ハ東京控訴裁判所ノ管轄ト相定明治十五年一月一日ニリ施行候條此旨布告候事

但該島ニ於テ治罪ノ手續ハ適宜取扱フヘシ

第六十六條 明治十四年十月七日第五十七號布告

伊豆七嶋裁判事務當分該島吏へ民事ハ百圓以下及勸解并ニ刑事ハ違警罪ノ裁判ヲ委任シ民事百圓以上刑事輕罪以上ハ東京始審裁判所ノ管轄ト相定明治十五年一月一日ヨリ施行候條此旨布告候事

但該島ニ於テ裁判治罪ノ手續ハ適宜取扱フヘシ

第六十七條 明治十四年十二月二十八日第七十六號布告

本年(十月)第五十三號布告裁判所名稱區劃表始審ノ行中相川豐岡泷本田邊脇町高山西郷平戸福江嚴原天草大曲八戸ノ名稱ヲ削除シ其管轄ハ相川ヲ新潟ニ豐岡ヲ姫路ニ洲本ヲ神戸ニ田邊ヲ和歌山ニ脇町ヲ德島ニ高山ヲ岐阜ニ西郷ヲ松江ニ平戸福江嚴原ヲ長崎ニ天草ヲ熊本ニ大曲ヲ秋田ニ八戸ヲ弘前ニ合併ス
右奉 勅旨布告候事

第六十八條 明治十四年十二月二十八日第七十八號布告

重罪裁判所管轄區畫別紙ノ通相定メ明治十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス(但治罪法第七十二條ニ從ヒ管内便宜ノ裁判所ニ於テ一ヶ所又ハ數ヶ所開廳スヘシ)

右奉 勅旨布告候事

重罪裁判所管轄

東京重罪裁判所 管轄 東京始審裁判所管轄ノ地方

〇神奈川重罪裁判所 同 横濱始審裁判所管轄ノ地方

〇新潟重罪裁判所 同 新潟高田長岡新發田始審裁判所管轄ノ地方

方

〇埼玉重罪裁判所 同 浦和熊谷始審裁判所管轄ノ地方

〇千葉重罪裁判所 同 千葉木更津始審裁判所管轄ノ地方

- 朽木重罪裁判所 同 朽木宇都宮始審裁判所管轄ノ地方
- 群馬重罪裁判所 同 前橋始審裁判所管轄ノ地方
- 茨城重罪裁判所 同 水戸土浦始審裁判所管轄ノ地方
- 山梨重罪裁判所 同 甲府始審裁判所管轄ノ地方
- 静岡重罪裁判所 同 静岡濱松始審裁判所管轄ノ地方
- 長野重罪裁判所 同 松本長野上田始審裁判所管轄ノ地方
- 大坂重罪裁判所 同 大坂堺奈良始審裁判所管轄ノ地方
- 京都重罪裁判所 同 京都園部宮津始審裁判所管轄ノ地方
- 兵庫重罪裁判所 同 神戸姫路始審裁判所管轄ノ地方
- 和歌山重罪裁判所 同 和歌山始審裁判所管轄ノ地方
- 滋賀重罪裁判所 同 大津彦根始審裁判所管轄ノ地方

- 德嶋重罪裁判所 同 德嶋始審裁判所管轄ノ地方
- 岡山重罪裁判所 同 岡山津山始審裁判所管轄ノ地方
- 福井重罪裁判所 同 福井始審裁判所管轄ノ地方
- 石川重罪裁判所 同 金澤富山七尾始審裁判所管轄ノ地方
- 高知重罪裁判所 同 高知中村始審裁判所管轄ノ地方
- 愛媛重罪裁判所 同 松山高松宇和嶋始審裁判所管轄ノ地方
- 長崎重罪裁判所 同 長崎佐賀始審裁判所管轄ノ地方
- 福岡重罪裁判所 同 福岡始審裁判所管轄ノ地方
- 熊本重罪裁判所 同 熊本始審裁判所管轄ノ地方
- 大分重罪裁判所 同 大分中津始審裁判所管轄ノ地方
- 鹿兒島重罪裁判所 同 鹿兒島宮崎始審裁判所管轄ノ地方
- 沖繩縣管轄ノ地方

- 函館重罪裁判所 同 函館始審裁判所管轄ノ地方 ○開拓使(札幌根室)本支廳管轄ノ地方
- 青森重罪裁判所 同 弘前始審裁判所管轄ノ地方
- 愛知重罪裁判所 同 名古屋岡崎始審裁判所管轄ノ地方
- 岐阜重罪裁判所 同 岐阜始審裁判所管轄ノ地方
- 三重重罪裁判所 同 安濃津山田始審裁判所管轄ノ地方
- 宮城重罪裁判所 同 仙臺始審裁判所管轄ノ地方
- 福島重罪裁判所 同 福島若松平白川始審裁判所管轄ノ地方
- 磐手重罪裁判所 同 盛岡磐井始審裁判所管轄ノ地方
- 山形重罪裁判所 同 山形米澤酒田始審裁判所管轄ノ地方
- 秋田重罪裁判所 同 秋田始審裁判所管轄ノ地方
- 廣島重罪裁判所 同 廣島尾道始審裁判所管轄ノ地方

○山口重罪裁判所 同 山口始審裁判所管轄ノ地方

○嶺根重罪裁判所 同 松江濱田始審裁判所管轄ノ地方

○鳥取重罪裁判所 同 鳥取米子始審裁判所管轄ノ地方

第六十九條 明治十四年十二月二十八日第七十九號布告

各裁判所ノ位置及管轄區畫、儀本年(十月)第五十三號ヲ以テ布告候處北海道(函館始審裁判所管內ヲ除ク)并ニ沖繩縣ノ儀ハ當分從前ノ通其所轄ノ官廳ヲ於テ裁判シ治罪ノ手續ニ便宜ノ取計ヲ爲スヘシ(但控訴ノ儀北海道ハ函館控訴裁判所沖繩縣ハ長崎控訴裁判所ノ管轄ニ屬ス)

右奉 勅旨布告候事

第七十條 明治十四年十二月二十八日第二號布達

本年(十月)第五十三號布告ヲ以テ各裁判所ノ位置及ヒ管轄ノ區畫改

正候ニ付テハ從前布達中上等裁判所トアルハ控訴裁判所地方裁判
所トアルハ始審裁判所區裁判所トアルハ治安裁判所ト改マリ候儀
下心得ニシテ
右布達候事

○第二款自第七十二條 司法省達 明治十四年十月八日丁第十六號達 裁判所順次別紙ヲ通相達候事

○大審院 明治十四年十月八日丁第十六號達 裁判所順次別紙ヲ通相達候事

○東京 大坂 長崎 函館 名古屋 宮城 廣嶋 函館 始審裁判所

東京 橫濱 新潟 浦和 千葉 熊谷 土浦 水更津 栃木 宇
都宮 前橋 水戸 甲府 靜岡 上田 長野 高田 濱松 松本
長崎 新發田 和川

以上東京控訴裁判所管内

京都 大坂 神戸 堺 奈良 和歌山 姫路 大津 園部 彦根
宮津 洲本 田邊 徳嶋 岡山 豐島 津山 脇町 高松 福井
金澤 富山 七尾 高知 松山 中村 宇和島
以上大坂控訴裁判所管内
長崎 佐賀 平戸 福岡 熊本 福江 中津 大分 天草 巖原
鹿兒島 宮崎

以上長崎控訴裁判所管内 函館 弘前 八戸

國府 以上函館控訴裁判所管内

名古屋 岐阜 岡崎 安濃津 山田 高山

以上七名古屋控訴裁判所管内

仙臺 磐井 福嶋 米澤 若松 山形 盛岡 白川 平草大龜原

秋田 酒田 大館 横手 湯沢

以上宮城控訴裁判所管内

廣嶋 尾道 山口 濱田 松江 米子 鳥取 西郷 高松 坂井

以上廣嶋控訴裁判所管内

治安裁判所管内

具本橋 京橋 下谷 淺草 麴町 四ッ谷 芝 本郷 本所 品

川 横濱 小田原 八王子 浦和 さいたま 高田 前橋 宇都

千葉 八日市場 熊谷 大宮 土浦 下妻 水戸 宇都 栃木 宇都

宮 前橋 高崎 太田 水戸 甲府 谷村 静岡 沼津 下田

上田 岩村田 長野 飯山 高田 糸魚川 濱松 掛川 松本

飯田 上諏訪 大町 福嶋 新潟 長岡 柏崎 六百町 新發田

村上市 相川 大田 越前 福井 滋賀 甲府 山梨 長野 群馬

以上東京控訴裁判所管内

上京 下京 伏見 中ノ嶋 本田 天王寺 神戸 明石 篠山

堺 五條 奈良 和歌山 姫路 大津 園部 福知山 彦根 宮

津 洲本 田邊 徳嶋 岡山 高梁 玉嶋 豊岡 津山 脇町

高松 丸龜 福井 大野 敦賀 小濱 金澤 小松 高岡 富山

魚津 七尾 輪嶋 高知 松山 大洲 西條 中村 宇和嶋

以上大坂控訴裁判所管内

長崎 嶋原 佐賀 唐津 中平 福岡 久留米 小倉 熊本 山

鹿嶋八代 人吉 福江 中津 豆田 大分 佐伯 竹田 津株 築

天草 嚴原 鹿兒嶋 水引 大嶋 宮崎 都城 延岡
以上長崎控訴裁判所管内

函館 福山 江刺 壽都 弘前 青森 五所河原 八戸 富山
以上函館控訴裁判所管内

名古屋 熱田 一宮 岐阜 大垣 御嵩 岡崎 豊橋 安濃津
一四日市 上野 山田 高山
以上名古屋控訴裁判所管内

仙臺 古川 石巻 大河原 磐井 福嶋 中村 米澤 若松 山
形 新庄 盛岡 大宮 白川 大曲 秋田 本庄 能代 酒

田 以上宮城控訴裁判所管内

廣島 三次 尾道 山口 岩國 赤間關 萩 濱田 松江 今市

以上廣島控訴裁判所管内

第七十三條 參考明治十四年十月二十八日發本年丁第十六號達正誤

當省本年十月丁第十六號達中正誤 今町 今市ノ誤
十月二十八日 司法書記官

〇第二篇 代言人規則之類
第七十三條 自第七十三條 司法省布達

第七十三條 明治九年二月二十二日甲第六號布達
今般代言人規則別紙之通相設々候條來四月一日ヨリ以後右規
則通リ免許ヲ經ル者へ代言相頼候儀不相成候條此旨布達候事

但四月一日以後代言人無之且本人疾病事故等不得止場合於
テハ其至親又ハ叔姪ノ内之ニ代ルヲ得ルハ若シ至親無之者ハ區
區小戸長列証書ヲ以テ相當ノ代人ヲ出テ亦不苦也

○第二條 凡言人ノ証書ニハ
凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

○第三條 凡言人ノ証書ニハ
凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

凡ソ代言人ダラントスル者ハ先ツ專ラ代言ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

二刑律ノ概略ニ通スル者

三現今裁判上手續ノ概略ニ通スル者

四本大語行并ニ履歷如何

第三條 凡言人ノ証書ニハ

免許與ラセカテ專ル者左ノ如キハ免許其証書ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

免許與ラセカテ專ル者左ノ如キハ免許其証書ヲ行ハシムル欲スル裁判
所ヲ示シテ且願書ヲ記テ所管地方官ヲ檢査ヲ乞フ然ル後其許スヘキ者ハ司法

二其代限ノ處分ヲ受ケシ者

三其地方内ニ定マリタル住居アラサル者

四官職ナル者

但准官吏タル者亦同

五諸官員華士族及ヒ商家其他一般ノ雇入タル者言人ノ証書ニハ

但雇主承諾ノ証書アル者ハ此限ニアラス

第四條

既免許狀を得たる者ハ之ヲ司法省并各裁判所ノ代官人名表ニ登載ス

但免許狀を得タル者ハ必ス該裁判所々在ノ地大區内ニ住居スヘシ

第五條

免許狀を得タル者ハ免許料トシテ金十圓ヲ司法省ニ納メシム

但免許ハ一年ヲ以テ限リトス若シ引續其職務ヲ行ハント欲スル者ハ滿期ノ節更ニ免許ヲ受クヘシ

第六條

代官ハ代官ヲ爲スニ必シ同管轄ノ者ニ限ラス都テ雙方ノ協議ニ任ス

本但免許セズル該裁判所外ハ代官ヲ爲ス得ズ然レモ其或キ控訴等事ヲ從前手續ヲ以テ他ノ裁判所ニ出ル者如キハ此限ニアラス

第七條

代官人其リ訴訟本人ニ對シ不正不實ヲ證アル時ハ本人ヨリ何時ニテ裁判所ニ其由ヲ届ケタル上ニテ代官ヲ辭シ更ニ他ノ代官人ヲシテ代官セシムルヲ得ヘシ

第八條

代官人ハ訟庭ニ於テ其訴答往復書中ノ趣意ヲ辨明シ裁判官ノ問答フル者トス若シ其辨論端緒ヲ失シ詞訟ノ本旨ヲ紊亂シ裁判ノ妨碍ナル時ハ裁判官之ヲ制止スルヲ得ヘシ

第九條

若シ訴答書中遺漏ノ件アル時ハ更ニ書取リテ差出サシメタル上ニ非サレハ代言人其事ヲ辨明スルコトヲ得ス

第十條 裁判官ノ許可ヲ得ルニ非サレバ訴訟庭上原被雙方互ニ辨論容ル得ス

第十一條

告達諸規則ノヨリ付裁判官ニ向テ旨趣ヲ陳述スルヲ得ヘシト雖モ其是非及ヒ立法ノ原旨ヲ論議スルヲ得ス

第十二條

代言人疾病事故アリテ本日出席スル能ハサレハ必ス裁判所ヘ其旨ヲ届出シ若シ又代言人故チ出頭セズ然テ聽訟延期スル時ハ訴訟本人以爲メ并ニ相手方ニ爲シ延期ヨリ生ズル費用ヲ償還シ其延

シ賠償額ハ其延シタル日數ニ依リ算定スルモ三里以內ニ其延シタル日數ハ三條ノ限ニテ算定スル

代理人謝金 代理人其訴訟本人トシテ協議ヲ以テ其高ヲ預定スル

者ハ其延シタル日數ニ依リ算定スル

第十四條

一 訴訟庭ニ於テ國法ヲ誹議シ及ヒ官吏ヲ侵凌スル者

二 訴訟庭ニ於テ臆察詐僞ヲ辨シ爲ス者

三 相手方ヲ惡言凌罵シ其面目名譽ヲ汚ス者

四 謝金ヲ前取リ又ハ過當ノ謝金ヲ貪ル者

五 他人ノ貸借取引等ノ詞訟ヲ買取リ自己ノ利ヲ圖ル者

六 詞訟ヲ教唆スル者

七 故チ時日ヲ遷延シテ訴訟本人ノ妨害ヲ爲ス者

右ノ如キ者ハ其輕重ヲ量リ裁判官直チ之ヲ罰スルヲ得其罰目左ノ如シ

一 譴責

二 停業 一月以上

三 除名 三年以下

但其罪重キ者ハ律ニ依テ處斷シ本條罰目ト併セ科スルヲ妨

第十五條

此規則ニ掲クル所ノ者ハ他ノ法律成規ニ相觸ル、コナシ

第七十四條 明治九年三月三十一日甲第三號布達
代理人規則第四條但書左ノ通改正候條此旨布達候事
但免許狀ヲ得タル者ハ必ス該裁判所々在ノ地三里以内ニ住居ス

官ニシテ尤モ既ニ該裁判所ニ免許ヲ得レハ其管下支廳ハ遠近ニ拘ハ
ラズ代理人ヲ爲スヲ得

第七十五條 明治九年四月十三日甲第四號布達
本年當省甲第一號布達中ノ儀ニ付左ノ通相心得ル候條此旨更ニ
布達候事

布達但書ニ代人ノ儀掲載候處尙ホ一般人民ノ雇入十ヶ月以上不斷
雇置候者ニ限リ至親同様代人ヲ爲スヲ得可シ總テ代人并代理人ヲ
出ス場合ニ委任狀ヲ渡シ又ハ訴狀ニ與書可致儀ト心得ヘシ

規則第六條控訴代言ノ儀但書ニ掲載候處其初告ノ代言ヲ爲シタル
事件ニ付大審院へ上告ノ代言ヲ爲ス者モ同斷ト心得ル
第七十六條 明治九年六月三日甲第九號布達
本年當省甲第二號布達代理人規則第九條ニ刪除候條此旨布達候事

第七十七條 明治九年七月六日甲第十號布達本年當省甲第一號布達
代理人規則在之通追加候條此旨布達候事

第十六條 外國人原告之時ニ限リ被告ニ於テ外國人ヲ代理人ト
爲シ答辨ヲ爲サシムル時ニ於テ其時ニ於テ其時ニ於テ其時ニ於テ

第七十八條 明治九年九月十九日甲第十號布達
當省本年甲第一號布達第五條但書一年間月數ヲ通算シ十月ヲ

以テ期ヲ免許狀ニ登記セヨ月ヨリ起算スルハ十月ヨリ起算スルハ
代理人免許願狀本年ハ來十月限リ其管轄廳ニ差出スヘシ來十年ヨ

但書 免許狀ヲ與ヘル時代理人ノ期限後引續其職務ヲ行ハ
スルハ其望々者ハ本文兩月内ニ像ノ願狀ヲ地方廳ニ差出スヘシ

右布達候事
明治九年九月十九日甲第十號布達

第七十九條 明治九年十一月四日甲第十四號布達
本年當省甲第三號布達代理人規則第四條但書該裁判所々在ノ地三

里内ト有之ヲ該地方裁判所ノ區内ト改正候條此旨更ニ布達候事
第八十條 明治九年十一月四日甲第十五號布達

一 代理人試驗ヲ受ケ落第シタル者再試驗ヲ願ハントスルハ次ノ

一 期月ヲ待ツヘシ
一 再度以上落第セシ者ハ再度ノ期月ヨリ第三回目期月ニ至ラサレ

一 試驗ヲ願フコトヲ得ル者ハ其旨ヲ願狀ニ附記スヘシ
右布達候事

第八十一條 明治九年十一月四日甲第十六號布達
一 代理人本貫族籍轉換ノ節ハ地方廳ヲ經由シテ當省ニ届出可シ

但該裁判所へハ本文ノ儀且住居移轉ノ節毎ニ本人ヨリ直ニ届出

一 姓名ヲ改メタル代言人ハ免許狀ノ書換地方廳經由シテ當省へ願
出

一 免許狀書換願出ル節從前ノ免許狀ハ直チニ返納ニ不及追テ書換

一 不免許狀ト交換返納スヘシ

一 右書換願中ハ地方廳ニ於テ改名ヲ聞届タル証ヲ所持スレハ從前

ノ免許狀ヲ以テ代言ヲ爲スハ苦カラズ

右布達候事

第八十二條 明治十年五月十一日甲第二號布達

代言人滿期ニ至リ尙引續キ免許願出ル者其免許狀付與候迄ノ間ハ

右滿期以前出訴式及ヒ取扱掛リ外事件ニ限リ代言苦カラス候條此

旨布達候事

但再ヒ免許セサル者ト雖モ本文同様心得ヘシ

第八十三條 明治十一年二月七日甲第一號布達

代言人規則第十七條左ノ通増補候條此旨布達候事

代言人規則

第十七條 代言人検査ノ儀ハ第一條ノ外時宜ニ依リ之ヲ検査スル

第八十四條 明治十二年三月十九日甲第一號布達

代言人免許願ノ義出願期月相定置候處自今右期限ニ關シ候處ハ一

切相廢候此旨布達候事

但引續營業ヲ爲サント欲スル者ハ必ス免許滿期前ニ願出ヘキ事

第八十五條 明治十三年五月十三日甲第一號布達

明治九年當省甲第一號代理人規則左ノ通改正候條此旨布達候事

但該規則ニ抵觸スル從前ノ布達ハ總テ廢止スル可シ

代理人規則

第一款 總則

第一條 代理人ハ法令ニ於テ代言ヲ許サレタル詞訟ニ付テ原告又ハ被告ノ

委任ヲ受ケ其代言ヲ爲ス者トス

第二款

代言ノ業ヲ爲サシム欲スル者ハ第四款ニ掲ケル所ノ手續ニ依リ定式ノ試験ヲ經テ司法卿ノ免許ヲ受ケ可シ

第三款

免許ヲ受ケシ代理人ハ大審院及ヒ諸裁判所ニ於テ代言ヲ爲スヲ得

第四條

代理人ノ免許ヲ得ル能ハサル者左ノ如シ

- 一 未丁年者
- 二 身代限ノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終セサル者
- 三 盜罪詐偽罪ニ付刑ヲ受ケタル者
- 四 國事犯ヲ除クノ外懲役并ニ禁獄一年以上ノ刑ヲ受ケタル者
- 五 官吏准官吏及ヒ公私ノ雇人

第五條

免許ヲ受ケシ者ハ必ス第二款ニ掲ケル所ノ代理人ノ組合ニ入リテ其規則ヲ守ル可シ若シ一時他管ニ出テ代言ヲ爲スハ其地組合ノ規則ヲ遵守スヘシ

第六條

代理人ノ組合ハ其地ノ代理人ノ組合ニ加入スル可シ

代理人新ニ免許ヲ受ケシ時及ヒ他ノ地ニ轉住セント欲スル時ハ其業ヲ爲ス所ノ裁判所及ヒ檢事 檢事ナキ地ハ檢事ノ職務ヲ並ニ議會長ニ其旨ヲ届ケ廢業ノ時ハ免許狀ヲ檢事ニ返納ス可シ

第七條

代言免許ハ滿一年ヲ以テ限トシ免許料ハ金十圓トス其業ヲ繼續セント欲スル者ハ毎年免許料ヲ納ム可シ既ニ納メタル免許料ハ廢業停業除名ノ時ト雖モ之ヲ還付セズ

第八條

新規出願ノ者ハ免許狀ヲ受ル時免許料ヲ直テニ檢事ニ納ム可シ引續出願ノ者ハ必ス免許期限ノ盡ル前願書ニ免許料ヲ添ヘ檢事ニ差出スヘシ但右手續ヲ爲シタル日ハ期限後ニ係リ未ダ免狀ノ下付アラサルモ其儘代言ヲ爲スヲ得可シ

第九條

免許料ヲ納メサルヲ以テ免許ヲ得ズ又ハ期限前ニ於テ引續願ヲ爲サスシテ免許ノ効ヲ失ヒシ者再ヒ代言ヲ爲サント欲スル時ハ新規出願ノ手續ニ循テ可シ

第十條

免許狀若紛失シ又ハ氏名ヲ改メシ者ハ更ニ免許狀下付ノ願ヲ檢事ニ出スヘシ但願書ノ副本ニ檢事ノ檢印ヲ受ケ置キ引替免許狀下付迄ハ之ヲ以テ免許代理人タルノ證ト爲ス可シ

第十一條

代言ヲ爲スニハ必ス詞訟本人ノ委任狀ヲ受ク可シ

第十二條

代理人ノ懲罰ハ第三款ニ依テ處分ス可シ

第十三條

代言人ノ所業ニ因リ生シタル詞訟本人并ニ相手方關係人ノ損害ハ其代言人ニ於テ之ヲ償フ可シ

第二款 議會

第十四條

代言人ハ各地方裁判所本支廳所轄每一ノ組合ヲ立テ議會ヲ設ケ左ノ目的ヲ以テ規則ヲ定メ契約ヲ固クスヘシ但組合ハ各裁判區ノ廣狹遠近ニ依リ檢事ノ見計ヲ以テ之ヲ分合スルコトアル可シ
一 互ニ風儀ヲ矯正スル事

二 名譽ヲ保存スル事

三 法律ヲ研究スル事

四 誠實ヲ以テ本人ノ依頼ニ應スル事

五 強テ本人ノ權利ヲ捏造セサル事

六 妄リニ言詞ヲ變改セサル事

七 故ナリ時日ヲ遷延セサル事

八 相當謝金ノ額ヲ定ムル事

但該規則ハ必ス檢事ノ照閲ヲ經可シ其改正増補モ亦之ニ同シ

第十五條

組合毎ニ會長一名副會長一名又ハ二名ヲ毎年第一次會ニ於テ投票ニ多數ヲ以テ定ム可シ若シ投票ニ數相均シキ時ハ先キニ免許ヲ得タル者ヲ以テ之其時日相同シキ時ハ年長ノ者ヲ以テ之ニ充ツ可シ
第十六條
會長ノ議會ヲ管理ヲ爲シ副會長ハ會長ヲ補助シ會長差支アル時ハ之カ代理ヲ爲スヘシ其任期ハ各滿一年トス但每期投票多數ヲ得ル

者ト雖其職務ヲ繼續スルハ三期ヲ以テ限リトス
第二十七條 記載シタル條件ヲ犯ス者アル時ハ各代人ハ之ヲ會長ニ報告シ會長ハ之ヲ檢事ニ告發ス可シ
若シ會長告發ヲ遷延シ又ハ其所犯會長ニ係ル時ハ各代人ヨリ直チニ檢事ニ告發ス可シ

第十八條

議會ヲ開クハ毎年二次ヲ以テ定例ト爲シ其日數二次十五日ヲ過クルヲ得ス若シ已ムヲ得サル場合ニ於テ期日ヲ延サントスルカ又ハ臨時會ヲ開カントスル時ハ必ス檢事ノ認可ヲ受ク可シ但其會費ハ各代人ニ於テ之ヲ擔當スル者ト爲ス

第十九條

會長ハ組合總員ノ名簿ヲ作り其本貫族籍住所年齢及ヒ代言免許ノ年月日ヲ記シ轉住廢業懲罰ノ事アル毎ニ其旨ヲ記ス可シ

第二十條

議會中詞訟事件ニ付參會スルヲ得サル場合ニ於テハ其旨ヲ會長ニ届出シ可シ

第二十一條

會長及ヒ副會長ト雖其代言ノ職業ニ付テハ一般ノ代人ト異ナル

第二十二條

代言人左ノ條件ヲ犯ス時ハ輕重ヲ量リ第二十三條及ヒ第二十四條ニ依テ懲罰ス可シ

- 一 訴訟庭ニ於テ現行ノ法律ヲ誹議スル者
- 二 訴訟庭ニ於テ官吏ニ對シ不敬ノ所業ヲ爲ス者
- 三 訟庭ニ於テ相手方ヲ凌辱罵詈シタル者
- 四 訴訟ヲ激陵シタル者
- 五 證據ト爲ルヘキ者ヲ捏造シタル者
- 六 他人ノ訴訟ヲ買取り自己ノ利ヲ圖ル者
- 七 強テ謝金ヲ前収シ又ハ過當ノ謝金ヲ貪リタル者
- 八 事故ヲ一時日ヲ遷延シ訴訟本人并ニ相手方關係人ノ妨害ヲ爲シ
- 九 議會組合ノ外私ニ社ヲ結ビ號ヲ設ケ營業ヲ爲シタル者
- 十 議會ニ於テ定メタル取締規則ヲ犯シタル者
- 十一 第二十三條ノ規定ニ依リテ懲罰ヲ受ケタル者

懲戒ノ目次左ノ如シ

一 誹議責目

二 停業

三 除名

第二十四條

所犯法律ニ該ル者ハ法律ニ依テ處斷シ仍ホ第二十三條ノ罰目ヲ併科スルコトアルヘシ

第二十五條

誹責ヲ止マ呵責シテ業ヲ停メテ停業ノ一月以上一年以下其業ヲ停メ除名ハ代官八名簿ノ名ヲ除キ三年ヲ經ルノ後ニ非サレハ復タ代官人トシテ得ヌ若シ其所犯ノ情狀重キ者ハ終身之ヲ許サス

第二十二條ノ懲罰ヲ受ケタル者アル中ハ其旨ヲ裁判所ノ扣所ニ掲

示ス可シ
 第四款 出願書
 第二十六條
 第二十九條
 又ハ
 區長
 第二十七條
 出願定月
 二月
 第二十八條
 試驗ノ課目左ノ如シ
 一 民事ニ關スル法律

二 刑事ニ關スル法律
 三 訴訟ノ手續
 四 裁判ニ關スル諸規則
 第二十九條
 願書及ヒ履歷書書式
 代官願
 本貫住所
 寄留ナル時
 所チ記入ス
 身分
 氏名
 年 齡
 代官營業仕度ニ付御試驗之上免許被成下度此段奉願候也
 年號月日

右
其官職... 氏名印

司法卿某殿

前書之通出願候ニ付キ奥印致候也

右
右 戶長 區長
氏名 印

履歷書

本貫住所 寄留ナル時ハ其寄
留所ヲ記スヘシ

身分

職業

氏名

年齢

一地名身分何某ニ隨ヒ何年ヨリ何年迄何學修行何某ニ隨ヒ何技術

ヲ修行... 官ニ任シ何年月日 免官

一何年月日何々ノ廉ヲ以テ何應ヨリ賞典ヲ受ク

一何年月日何々ノ犯罪ニ依リ何ノ刑ヲ受ク

一何年月日身代限リノ處分ヲ受ク

一何年月日辨償ノ義務ヲ終フ

右之通ニ御坐候也

年號月日 氏名 印

代言引續願ノ願書モ此式ニ倣フ可シ

引續代言營業仕度候ニ付免許狀御下付被下度此段奉願候也

本貫住所 寄留ナル時ハ其寄
留所ヲ記スヘシ

免許代理人

氏名 印

年號月日

司法卿 某殿

第八十六條(参考)明治十三年五月十三日甲第二號布達

明治九年甲第一號但書同甲第四號ヲ以テ詞訟代人ノ儀相達シ置候處今般代言人規則改正ニ付右代人ノ儀左ノ通り可相心得此旨布達候事
詞訟ニ付原被告又ハ引合人等疾病事故アリ出頭シ難キ時又免許代
言人之オキ歟又ハ已ムヲ得サルノ事情アリテ代言人ニ代言ヲ委託
シ難キ場合ニ於テハ戶長又ハ區長ノ公證ヲ以テ親屬又ハ相當ノ者
ヲ代人ト爲スヲ得然レモ其代人タル者ハ一事件ヲ限り受任ス可シ

若シ三件以上ヲ受任シ又ハ詞訟ヲ教唆シ私利ヲ營ム等ノ事アル時
ハ裁判官ニ於テ直ニ其代人ヲ停止ス可シ

第八十七條 明治十四年二月二十四日甲第二號布達

司法省明治十三年甲第一號布達代言人規則第四條第四項左ノ通改

正候條此旨布達候事

第四項 懲役禁獄一年以上ノ刑ニ處セラレタル者

第八十八條 明治十四年十二月二日甲第八號布達

大審院諸裁判所々屬代言人規則別紙ノ通相定候條此旨布達候事

所屬代言人規則

第一條

治罪法中所屬代理人ト稱スルハ大審院及ヒ各裁判所々在ノ地ニ住
居スル免許代理人ヲ云

第三條

裁判官ノ職權ヲ以テ選任シタル代理人辯護人ハ正當ノ事由ヲ證明
スルコトヲサレハ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第三條

代言又ハ辯護受任中代言免許滿期ニ至リ引續營業セス又ハ廢業ス

ト雖モ該事件終結ニ至ルマテ其代言辯護ヲ擔當スヘシ

第四條

代言又ハ辯護受任中ハ他ノ訴訟事件ヲ以テ其任ヲ闕クコトヲ得ス

第五條

裁判官ノ職權ヲ以テ代理人辯護人ヲ選任シタル場合ニ於テモ其謝

金ハ被告人之ヲ擔當スヘシ

總テ謝金三付テハ出訴スルコトヲ許サズ

自第八十九條
至第一百十條

司法省達

第八十九條 明治九年三月二十二日第二十四號達

各裁判所

府 縣

今般甲第一號ヲ以テ代理人規則布達候條來四月一日ヨリ各管下ニ

於テ代言願望ノ者ハ右規則ニ照シ可取計此旨相達候事

但從前代理人現場裁判所ニ願掛リ等ノ事件ニテ原被本人ノ請求

ニヨリ其結局ニ至ル迄爲取扱候儀ハ格別ノ事

第九十條 明治九年二月二十二日第二十五號達

各裁判所

府 縣

今般當省甲第一號布達相成候ニ付テハ右施行手續別紙ニ照シ可取

扱候條此旨相達候事

別紙

代言人規則中手續

第一條

凡ソ代言人タラント欲スル者ハ先ツ其願狀ヲ所管區戸長ニ出シ區戸長之ニ與書シテ該地方廳ニ出ス

第二條

地方官其願狀ヲ受クレハ旨ヲ該區戸長ニ下シ其規則中第二條及ヒ第三條ニ觸レサルヤ否ヲ具狀セシム

第三條

地方官其具狀ニ就テ之ヲ審核檢査スルハ各便宜ニ隨フヘント雖モ必ス本人ヲシテ規則第二條中一ヨリ三ニ至ル迄ノ事ニ就テハ一ノ

議案ヲ出サシムルヲ要ス

但其議案ニ據リ或ハ問題ヲ設ケテ之カ答案ヲ作ラシムルコトアル

ヘシ

第四條

地方官ニ於テ其可ナリト思料スル者ハ其見込書へ本人出ス所ノ願狀並ニ議案^{或ハ}及區戸長ノ具狀書ヲ副ユテ之ヲ司法省ニ送呈ス若シ其不可ナリト思料スル者ハ司法省ニ送呈セス直チニ其願狀等ヲ本人ニ還付スルハ勿論ナリトス

第五條

司法卿其書類ヲ取り之ヲ審議セシメ其許スヘント決スル者ハ乃チ之ニ下付スルニ免狀ヲ以テシ之ヲ全國代言人表ニ掲載セシム若シ其許ス可カラサル者ハ直チニ之ヲ地方官ニ還付スルハ勿論ナリト

ス

但免許料ハ十日内ニ之ヲ地方官ニ納メ地方官取纏メ一年四次之
ヲ司法省ニ納付ス共ニ贓贖金收納ノ期限ヲ以テス

第六條

免狀ハ地方官ヲ經シ區戸長ヨリ之ヲ本人ニ付ス本人免狀ヲ受クレ
ハ其免狀ニ届書ヲ添ヘ所在ノ裁判所ニ出ス裁判官閱シ了レテ書記
ニ命シテ其姓名住所族籍年齢等及免許ノ年月日ヲ裁判所代理人表
ニ掲載セシメ其免狀ハ本人ニ還付ス
第九十一條 明治九年二月二十七日第二十八號達

各裁判所

當省本年達第二十五號代言人規則中手續第五條但書共ニ以下十四

字刪除候條此旨相達候事

但二年四次ハ三月六月九月十二月トシ共ニ其翌月十五日限納付
スル儀ト相心得ヘシ

第九十二條 明治九年四月十日第三十九號達

府 縣

本年當省達第二十五號ノ儀ニ付左ノ通可相心得候條此旨更ニ相達

候事

第二條履歷取調方

一 現在本管并寄留ノ住所及ヒ族籍姓名年齢但寄留ナレハ何年何
月ヨリ又其期限ノ知ルヘキトキハ何年何月迄ト記載スヘシ若
シ其寄留ノ者ニテ履歷詳悉セスト看認ルルハ其本管等へ照會
シ勉メテ粗漏ナキヲ要ス

一 學術アレハ其學術及ヒ其師名

一 曾テ奉職セシコアレハ其官名及ヒ任免并年月日

一族籍及ヒ職業住所ヨ前後ノ異アル者ハ其時々ノ始末並其年月日

一 姓名ヲ變セシ者ハ其舊姓名

第三條 議案ヲ出サシムルヲ要スト有之處退々當省へ差出候代言

人檢査狀ニ議案差副サル向有之不都合ニ候條以來右等ノ節ハ必ス

本人議案可差出尤議案ハ二ノ題目ヲ與ヘテ之ヲ作ラシムルノ儀

心得ヘシ

但議案ヲ作ラシムルニハ其請ニ應ル法律書等ヲ示メスモ妨ケナ

シトス

第九十三條 明治九年五月二十九日第五十三號達

府縣裁判所

裁判所ヲ置サル各縣

免許代言人ノ輩府縣裁判廳ニ於テ規則第十四條罰目ニ處セラレ並

ニ其罪重ク律ニ依リ處斷スヘキ者ニテ上等裁判所ノ決ヲ取り及ヒ

代言職務外ノ犯罪ニテ府縣裁判廳限リ處斷ニ及候者等有之節ハ其

都度顛末ヲ具シ當省へ可届出此旨相達候事

第九十四條 明治九年九月十九日第六十五號達

府縣裁判所

代言人免許願狀並試驗書類トモ今後一年兩次十月ニ取纏メ當省へ

差出スヘシ

但本年分ハ來ル十一月限差出スヘシ

已ニ免許狀ヲ與ヘタル代言人期限後引續其職務ヲ行ハンコテ願ヒ

出ル者ハ試驗ヲ要セス前條兩次願狀ヲ當省へ差出スヘシ

右相達シ候事

第九十五條 明治十年十二月二十四日丙第二十二號達

府 縣

今般當省附屬代言人ヲ置キ其規程別紙ノ通り相定候條此旨相達候

事

司法省中附屬代言人ヲ置キ其規則ヲ定ルル左ノ如シ

第一

司法卿ハ附屬代理人數人ヲ命シ相當ノ月俸ヲ給スヘシ

第二

附屬代理人ハ臨時司法卿ノ命ヲ受ケ各裁判所ニ出張シ通常代言ノ

職務ヲ行フコトアルヘシ

第三

附屬代言人ハ官廳ニ關涉スル訴訟ニ付キ官ノ爲メニ代言ヲ爲スコトアルヘシ

第四

附屬代言人ハ時宜ヨリ人民ノ囑托ヲ受ケ又ハ貧人ノ爲メニ謝金

ナク代言ヲ爲スコトアルヘシ

第九十六條 明治十一年三月四日丙第一號達

大審院

諸裁判所

府 縣

明治十年十二月十二日當省丙第二十二號達

「府縣」上之有之前行ヘ「大審院」諸裁判所ノ二行脱漏相成候條書載可致置

此旨相達候事

第九十七條 明治十一年五月二十一日丁第十七號達

諸裁判所
代理人懲役百日以下ニ該ル罪ヲ犯スト雖其犯狀盜贓詐偽等ニ係リ
代理人ノ職掌ニ於テ有ル可カラサル所業ト認ル時ハ各本律ニ依テ
處斷シ猶代理人規則第十四條ノ罪目ヲ併科ス可キハ勿論ノ處右等
ノ罪ヲ犯シタル者ニテ其儘代言爲致候向モ有之哉ニ付爲心得此段
諭達候事

第九十八條 明治十二年三月二十日丙第三號達

府縣
免許代理人犯罪處分ニ係リ引揚シ免許狀ヲ裁判所ヨリ送致シタル
時ハ速ニ返納スヘキ事
但總テ數名分ノ免許狀ヲ束テ返納スル時ハ其具申牒ヘ各氏名ヲ

列載スヘキ事

第九十九條 明治十二年三月二十日丁第十一號達

諸裁判所

免許代理人除名停業等ノ處分ニ及タル時ハ其届書ヘ右宣告文案ノ
寫ヲ副テ進達シ引揚ケタル免許狀ハ之ヲ下付セシ地方廳ヘ送付ス
ル儀ト心得ヘキ事

但停業ノ者其期限中免許期限ノ終ルヘキ者ナレバ右宣告ノ時免

許狀ヲ引揚ル儀ト心得事

第百條 明治十二年五月十九日丙第七號達

府縣
文部省所轄東京大學法學部ニ於テ法律學卒業シ者該校ヨリ受タル
卒業免狀ヲ證トシテ代言營業出願セシ時ハ代理人規則第二條中第

二項ヨリ三項ニ係ル検査ヲ須ス免許狀授與候條右出願セシ時ハ卒業免狀ヲ検査シ其寫ヲ願書ニ副テ進達可致此旨相達候事

但シ一年限免狀書換其他總テ代言人規則ニ準據スル事一般代言

人ト異ルナシ

諸裁判所

檢事

府

司法省明治九年三月第二十五號達代言人取扱手續左ノ通改正候條

此旨相達候事

代言人取扱手續

第一條

代言シ免許ヲ願フ者アル時ハ檢事職務ヲ攝行スル者其願書及ヒ履歷書ヲ査閲シ若シ寄留ニテ履歷ノ顛末分明ナラサル時ハ本管ニ照會シテ取調ヘタル上之ヲ試験シ一切ノ書類ヲ纏メ司法卿ニ進達スヘシ

第二條

試験問題ハ出願定月前司法卿ヨリ各地方ノ檢事ニ送付ス

第三條

檢事ハ司法卿ヨリ受クル所ノ問題ヲ以テ出願定月ノ下半ケ月間ニ試験ヲ行フヘシ但試験ニ法律書籍ヲ携帯スルモ妨ナシ其問題ニ之ヲ許サ、ル旨ヲ記セン時ハ携帯ヲ禁スヘシ

第四條

免許狀ハ司法卿ヨリ檢事ニ送付シ檢事之レヲ其本人ニ授與スヘシ

第五條

大審院裁判所并檢事ニ於テハ代言人名簿ヲ製シ年月日ヲ詳ニシテ左ノ件々ヲ登錄スヘシ

- 一 氏名身分住所年齢
- 二 新規及引續免許
- 三 住所移轉姓名改換及ヒ廢業免許狀紛失等
- 四 懲罰

第六條

代言人ハ總テ其地ノ檢事ニテ監視シ代言人規則ニ照シテ之ヲ取扱フヘシ若シ犯則ノ者アル時ハ其處分ヲ裁判官ニ求ムヘシ訟庭ニ於テノ犯則ハ裁判官直チ之ヲ處分シ後テ檢事ニ通知スヘシ

第七條

議會ノ規則ハ檢事之ヲ認許シ其副本及ヒ會長副會長組合人ノ氏名簿ヲ司法卿ニ進達スヘシ

第八條

代言人他ノ裁判所管内ニ轉住シ又ハ廢業スル時ハ檢事ヨリ司法卿ヘ上申スヘシ尤モ廢業ソトキハ其免許狀ヲ返納スヘシ

第九條

免許狀紛失或ハ改名係リ書換等ニテ更ニ下付テ願出ル者アル時ハ檢事ヨリ司法卿ヘ上申シ其免許狀下付ヲ得テ之レヲ本人ニ授與スヘシ但シ右出願ノ時其願書ノ寫ハ檢印ヲナシ本人ニ與ヘ置ク可シ

第十條

檢事ハ免許料ヲ收領シタル上ニテ免許狀ヲ本人ニ授與スヘシ

今般司法省甲第一號ヲ以テ改正代言人規則布達候ニ付テハ左ノ通
可相心得此旨相達候事

一現今代言免許期限中ノ者ハ其期限ヲ終ル迄免許狀引替ニ及ハス
尤モ期限中ハ改正免許狀ヲ受クル者ト同様大審院及ヒ諸裁判所ニ
於テ代言タルヲ得ル者トス

第三百三條 明治十三年五月十三日丙第十號達

今般甲第一號ヲ以テ代言人規則改正相成候付テハ右ニ關スル事務
ハ一切其府縣ヲ管轄スル地方裁判所ニ檢事ニ引渡可申此旨相達候
事
但檢事無之地方ハ檢事ノ職務ヲ攝行スル者ニ於テ可取扱義ト可
相心得候事

第四百四條 明治十三年六月十三日丙第十一號達

諸裁判所
檢事ナキ
縣
代理人取扱手續第五條ノ手續ヲ行フニ就キ同條諸件ニ各地方檢事
職務ヲ攝行スル者ニ其裁判所ニ通報既又上等裁判所大審院ノ檢事
届出候以上等裁判所大審院ニ檢事ニ送致其裁判所其院ニ可通知
儀可相心得此旨相達候事

第二百五條 明治十三年六月二十六日丙第十二號達

諸裁判所

檢事 府 縣

司法省明治十三年五月丙第八號達ヲ以テ代言免許狀離形相達置候處該免許狀表面右角ニ朱書番號ヲ增加候條此旨相達候事

第六條

明治十三年七月丙第四號達

檢事 府 縣

代言人取扱手續第十一條左ノ通改正候條此旨相達候事

第十一條

免許料ハ一月毎ニ司法省ヘ納ム

但シ檢事所在ノ裁判所ハ該會計課ヘ交付スル義下心得ヘシ

第七條

明治十三年十月二十九日丙第十六號達

地方裁判所

檢事

檢事

各縣

明治十二年五月司法省丙第七號達左ノ通改正候條此旨可相心得事

文部省所轄東京大學法學部ニ於テ法律學卒業ノ者代言營業出願セ

ル時明治十三年五月司法省甲第一號布達改正代言人規則第二十

七條(出願)第二十八條(試驗)ニ關セテ免許狀授與候條右出願ノ節ハ卒

業免狀ヲ檢査シ願書ニ其寫ヲ添ヘ進達可致此旨相達候事

但本文試驗ニ關スルモノ、外代言人規則ニ準據スルハ一般代言

人ト異ナルコトナシ

第一百八條 (參考)明治十三年十二月二十日丙第十八號達

地方裁判所

檢事

日本又法... 檢事... 各府縣

代理人舊規則... 依... 代理人免許... 雖本年當省甲第一號布達

改正規則第四條... 抵觸... 該免許期限後引續營業... 出願... 許

... 符右出願者... 其抵觸... 廉精查ス... 義... 心得可

此旨相達候事... 明治十四年二月十六日丙第四號達

第百九條

大審院

諸裁判所

檢事

日本... 明治十四年

府縣

司法省明治十年(十二月)丙第二十二號達ヲ以テ司法省附屬代理人ヲ

置キ候儀相達置候處自今廢止候條此旨相達候事

第百十條 明治十四年二月二十二日丙第五號達

大審院

諸裁判所

檢事

各縣

今般附屬代理人相廢シ候處代言仕掛リノ事件ニ限リ代人トシテ之

ヲ取扱フ儀ハ苦シカラサル旨元附屬代理人タリシ者ヘ相達候ニ付

此旨心得ノ爲メ相達候事

此書係... 法律... 附則類纂終

日本刑法附則類纂終

明治十五年二月八日出版權免許

定價金七拾五錢

編纂人

秋田縣士族

關幸太郎

神田區駿河臺西紅梅町拾貳番地

出版人

東京府平民

毛賀澤三九郎

京橋區木挽町三丁目六十一番地

發兌人

同

山中市兵衛

芝區三島町拾番地

同

同

山中孝之助

京橋區銀坐貳丁目九番地

同

同

山中喜太郎

同區銀坐四丁目三番地

東 京 書 林

北畠茂兵衛 稻田佐兵衛 同屋善七 丸野吉次 牧野慶次 水野次郎 東生龜次郎 江島喜兵衛 小島新兵衛 北澤伊兵衛 石川治兵衛 牧野善兵衛 太田勘右衛門 出雲寺萬次郎 青雲山清吉 福田仙藏 吉川半七

東 京 書 林

金花堂佐介 稻田政吉 淺倉久兵衛 內田彌兵衛 小坂新造 坂上梅次郎 柳川文三郎 木村文三郎 別所霞平 靜所霞平 紀伊屋虎吉 河內屋文介 荒川藤兵衛 內野屋彌平 內藤傳右衛門 金藤傳右衛門 博聞社

各 國 書 林

西京 田中治兵衛 藤井孫兵衛 前川善兵衛 柳原喜兵衛 小谷卯八郎 前川源七郎 岡島真七郎 川瀨代七郎 萬屋東平助 小栗太郎兵衛 岡安太郎兵衛 本屋文慶助 浪花屋文造 米山定市昌造 吉見義次 梶島宇吉

豆州三島 全下田 全蝶多野 相州小田原 全藤須賀 全藤澤 全伊勢原 甲州山梨 全柳町 全上野原 全武州橫濱 全八王子 全熊谷 全鴻ノ巢 上總佐貫町 下總佐原 堺屋又三郎 平野屋久七 丸屋喜兵衛 米屋忠兵衛 竹川新四郎 川上九兵衛 山田淺次郎 內藤傳右衛門 徵田古秀 富田古秀 吉川伊兵衛 高島伊兵衛 松枝悅三郎 長島爲一 小松屋長七 正文堂利兵衛

全 豆州肥田村

全 全

全 駿州靜岡

全 參州岡崎

全 美濃大垣

全 全 半田

全 尾州名古屋

全 全

全 全

全 全

全 大坂

全 全

全 全

全 全

全 全

全 全

全 全

下總千葉
野州足利
全 朽木
全 上三川
全 宇都宮
全 上州桐生
全 高崎
全 前橋
全 大田
全 常州水戸
全 下館
全 龍ヶ崎
全 神岡

藤屋銳次郎
和洋商社
叶屋儀右衛門
小原八郎
萩原藤作
佐藤靜雄
田中正太郎
竹内藤吉
文心堂源作
煥乎源
黑崎長三郎
長岡屋波太郎
川又銀三郎
須藤市左衛門
八幡屋幸助
岡野昌次
吉川忠章

信州長野
全 松本
全 白田
全 上田
全 高遠
全 小諸
濃州岐阜
加州金澤
越中富山
全
越前福井
越後葛塚
全 長岡

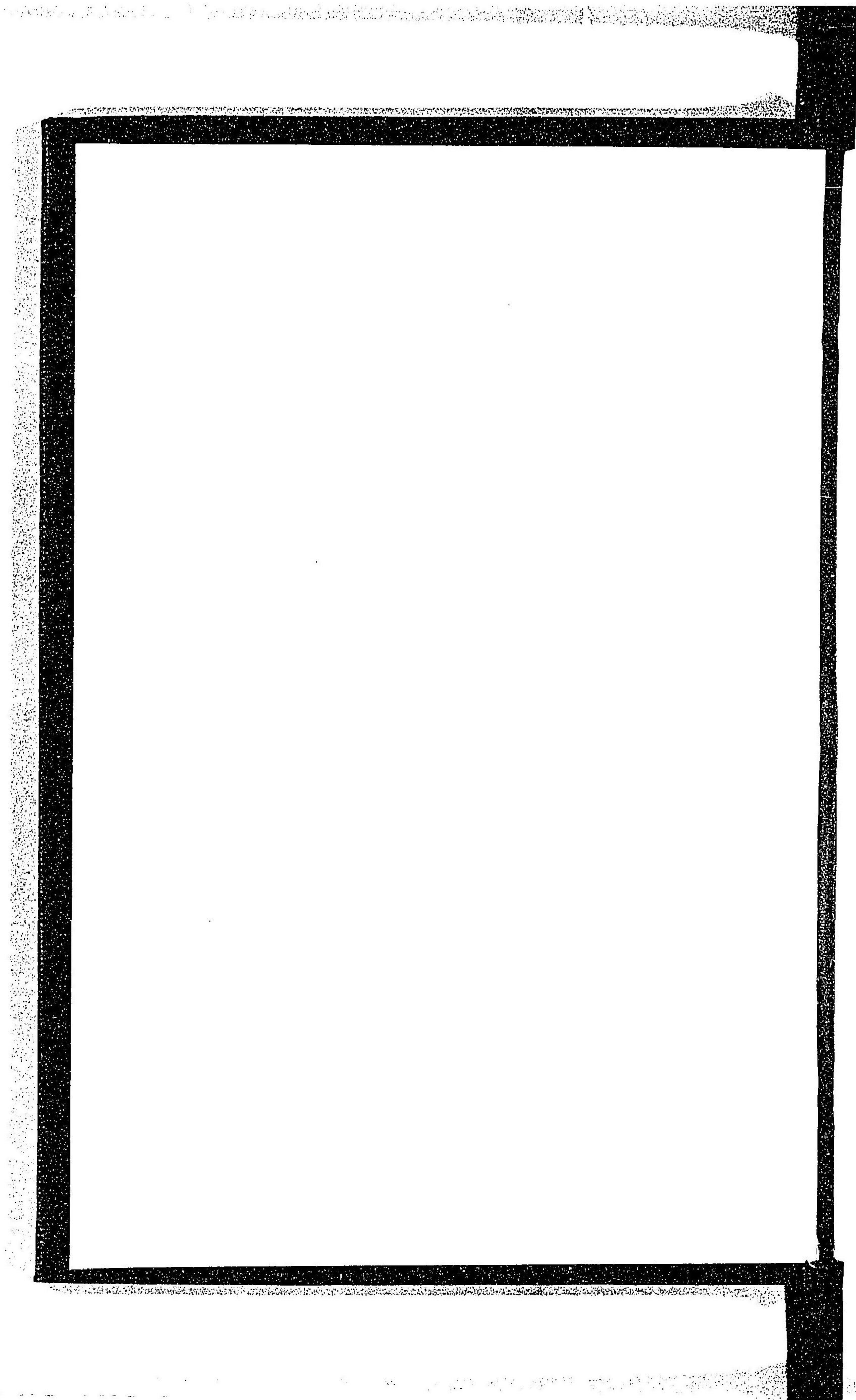
西澤喜太郎
岩下伴五郎
藤松屋損十郎
榎屋甚重平
高見屋甚左衛門
井出孫一
鼠屋甲藏
矢島金八
相場七左衛門
三浦源介
近岡屋甚平
大橋甚吾
守川吉兵衛
森下元次郎
三條屋七十郎
鳥屋十郎
上田屋治八郎

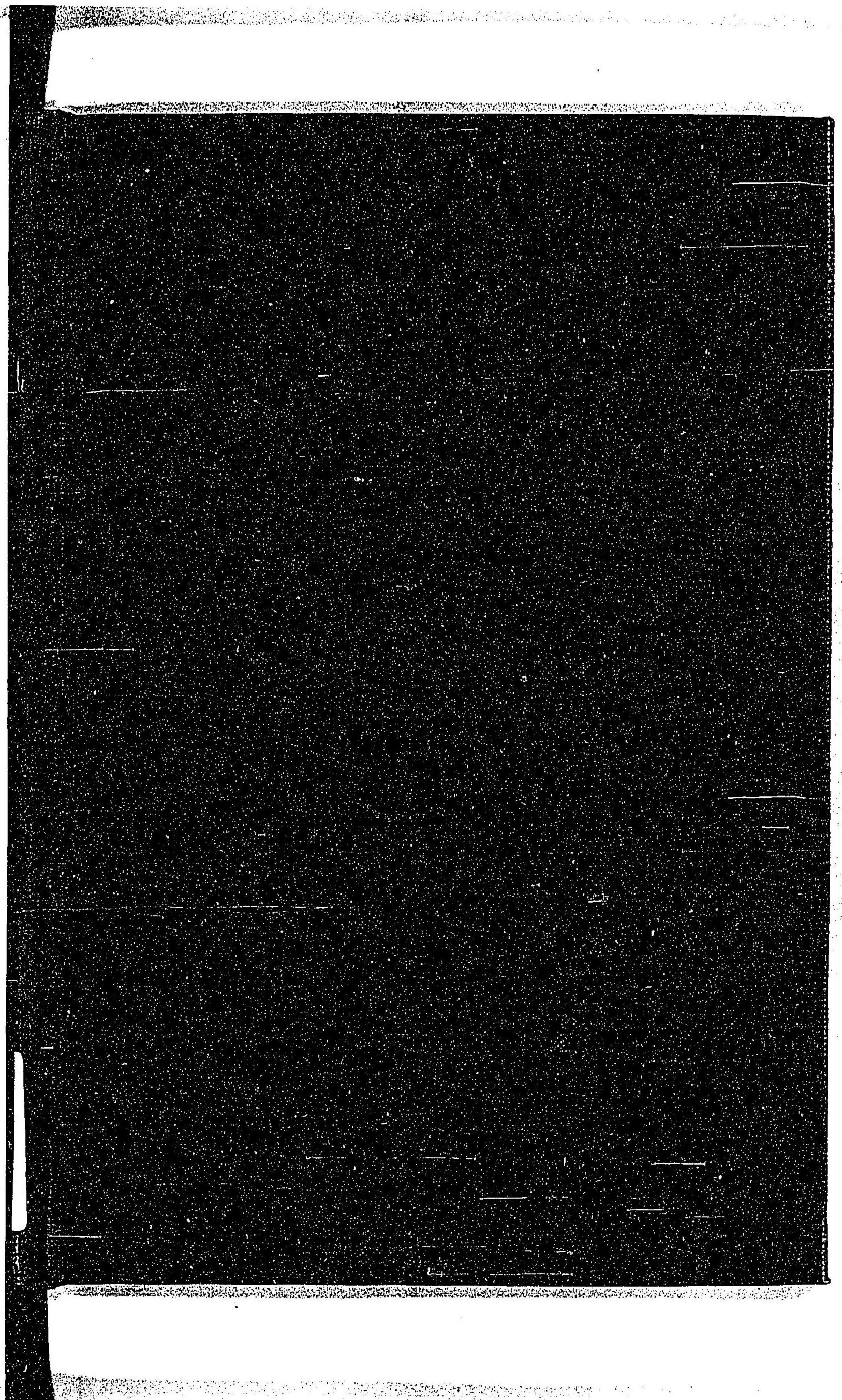
越後長岡
全 新潟
全 水原
全 三條
全 小千谷
全 加茂
陸前仙臺
全 小野
全 石巻
陸中盛岡
全 秋田

中村屋作平
松田周平
伊勢屋甚平
大橋新太郎
堀山三治郎
林屋富吉
島屋六平
樋口小左衛門
野口保太郎
丸山乙八郎
伊勢屋安右衛門
菅原屋安兵衛
伊勢屋源十郎
佐野米長藏
山田啓之助
池野藤兵衛
佐藤正兵衛

岩代若松
全 二本松
全 桑折
全 福島
全 喜多方
全 前橋
全 山形
全 上田
全 米澤
全 羽後秋田

齋藤八四郎
田中治平
龍田屋萬助
安齋彦四郎
平澤屋喜太郎
上野屋彦太郎
瀬野屋作右衛門
小池藤次郎
地主文造
地主勢二
五十嵐右衛門
市村屋五郎兵衛
荒井清作
萬屋利七
須佐權平
本間金三郎
佐伯孫三郎





禁電子式複写

036136-000-1

CZ-7.11-0175

日本刑法同治罪法附則類纂

関 幸太郎/編

M15

BBP-0801



